

令和2年度 農林水産業におけるロボット技術安全性確保策検討事業 評価結果概要

事業番号	事業実施主体	事業内容	総合評価及び総合所見	
			総合評価	
1	一般社団法人 日本農業機械工業会	日本における農業散布用小型無人航空機(産業用無人ヘリコプター及び産業用マルチローター)の効率性、正確性、安全性等についての客観的実証データを国際規格(ISO)に示すため、小型無人航空機を販売、開発している企業の参画・協力を得ながら、実地試験及び評価検討を行う。	総合評価	A : 計画以上の成果が見られる Ⓑ : 計画どおりの成果が見られる C : 計画どおりの成果が見られない
			総合所見	複数機種の農業散布用小型無人航空機を用いて、実証を通じた効果検証を行った上で、小型無人航空機による農業散布の安全確保に繋がる農業散布性能の評価試験方法を策定している。新型コロナウイルス感染症の影響により、開催予定であった国際会議が中止になり、ドリフトに関する試験方法の策定には至らなかったものの、概ね計画に即した取組が行われ、成果目標は達成されている。
2	ロボット農機技術安全性 確保策検討コンソーシアム	ロボット農機に関する安全性確保策の検討及び遠隔監視下におけるロボット農機の無人での完全自動走行の実現に向けた検証を行う。	総合評価	A : 計画以上の成果が見られる Ⓑ : 計画どおりの成果が見られる C : 計画どおりの成果が見られない
			総合所見	「農業機械の自動走行に関する安全性確保ガイドライン」の対象機種に小型汎用台車を追加する提言が示され、遠隔監視下における検証についても、ハザードの整理、遠隔監視技術の検証や実用上の課題の抽出等が実施されており、成果は目標に沿ったものと評価できる。